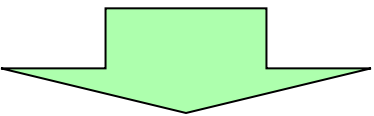


明石市(近畿圏ブロック)

【計画期間 22年11月～28年3月】

- ・江戸期：江戸時代初期から地元で親しまれている「魚の棚（うおんな）」と呼ばれる商店街が存在。
- ・昭和～：企業進出、住宅開発に伴う阪神都市間からの人口流入などを受け、住宅都市・産業都市として成長。

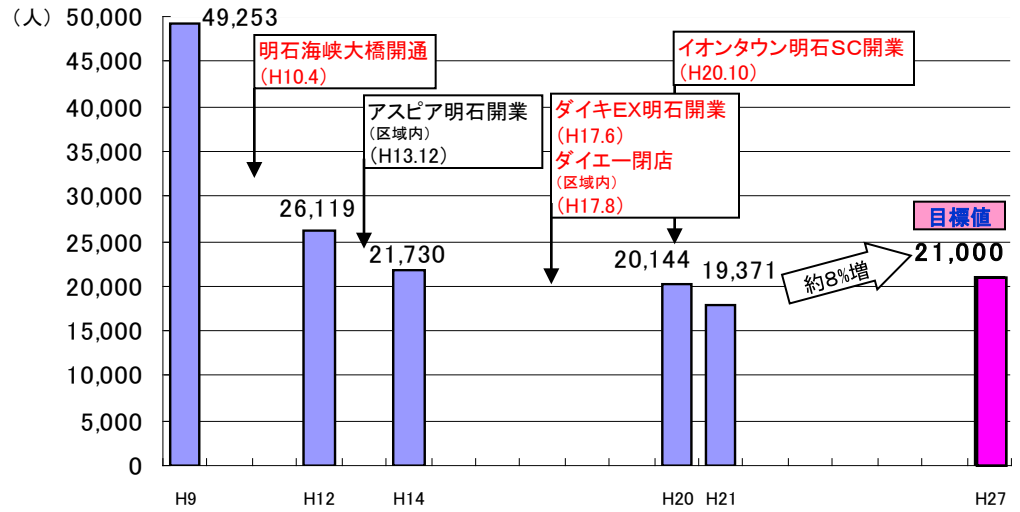
- 明石海峡大橋開通(平成10年)以降、フェリー利用者の激減とともに、港に近い商店街利用者も減少。
- 駅前大型店舗撤退による商業機能の低下。
- 公共施設や行政サービスの充実について、市民ニーズが高いにもかかわらず、十分な満足度が得られていない。



- 都市福利施設利用者数(市役所市民課・SCのみ)
H12: 293,389人 → H21: 225,463人 (▲23.2%)
- 歩行者・自転車通行量[休日・平日平均]
H9: 49,253人 → H21: 19,371人 (▲60.7%)

目標	指標	現況値(H21)	目標値(H27)
便利で暮らしやすいまちにする	駅至近にある都市福利施設の年間利用者数	435,691人/年	478,000人/年
一歩足を伸ばして楽しめるまち	歩行者・自転車通行量(休日・平日平均)	19,371人/日	21,000人/日

【歩行者・自転車通行量[休日・平日平均]の推移と数値目標】



- 明石駅前南地区の再開発事業を核に、市民や観光客へのサービスを改善し、便利で満足できる中心市街地をつくる。
→主要事業: ①明石駅前南地区第一種市街地再開発事業、②明石駅前広場再整備事業、など
- 回遊環境を整え、地域資源を活かしたあらゆる施策を位置づけ、快適で楽しい中心市街地をつくる。
→主要事業: ③国道2号立体横断歩行者整備、④旬感！明石海峡グルメ道楽、など

明石市中心市街地活性化基本計画の事業概要

便利で暮らしやすいまち

○明石駅前南地区第一種市街地再開発事業(①)

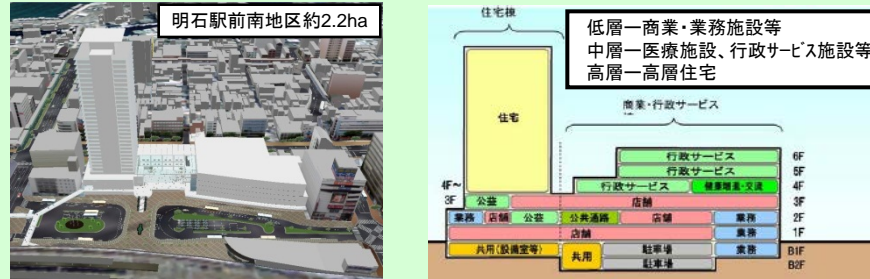
・市役所窓口機能整備
市民の利用頻度が高い**市民課や福祉、税務部門**を交通利便性の高い駅前に移転・設置する。

・医療モール整備
複数の医院や調剤薬局等からなる医療モールを設置し、通勤・通学途中の受診者等を見込む。



駅前再開発事業の概要

◆駅前の大規模小売店舗跡地ビルを中心とし、魅力的な都市機能を充填した駅前と国道2号線南地区を結ぶ新たな拠点施設を形成する。



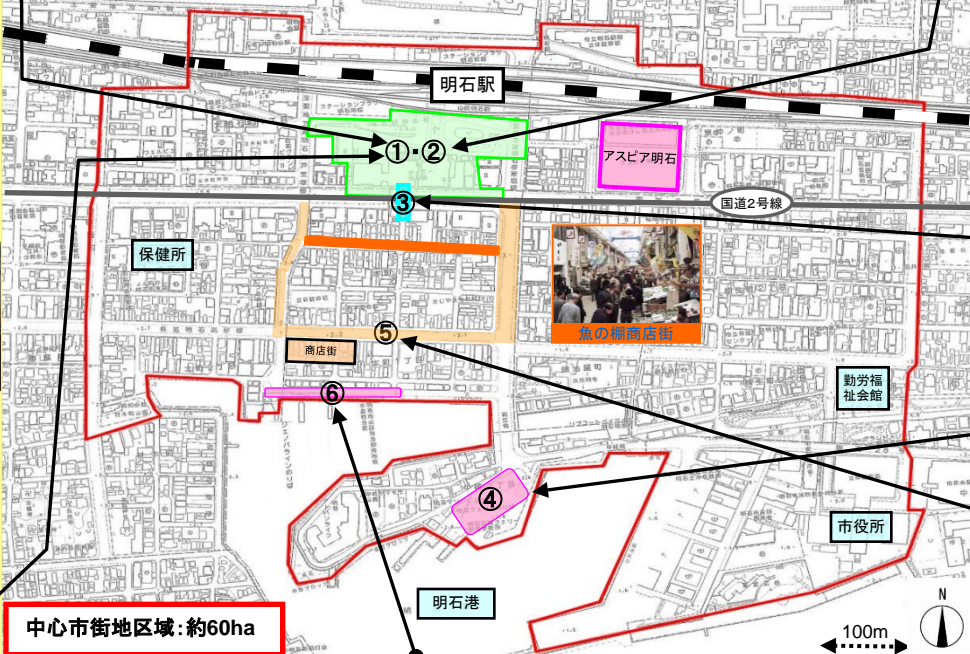
一歩足を伸ばして楽しめるまち

○明石駅前南地区第一種市街地再開発事業(①)

・商業施設整備
大型核テナントを誘致する手法ではなく、**明石らしさをテーマとした飲食店舗ゾーン**および**ファッションや書籍等の総合エンターテインメント**を中心としたゾーンで構成する。



・高層住宅整備
様々な世代が安心して暮らせる都市型高層住宅を**約200戸供給予定**。



○国道2号立体横断歩行者道路整備(③)
駅前再開発ビルから国道2号南側までの**立体横断デッキ**を整備し、南側への人の流れ、回遊性を促進する。

○旬感！明石海峡グルメ道楽(④)

たこフェリー乗場を中心に明石の食をテーマとしたイベント、明石の食材を使った**料理コンテスト**を実施し、コンテスト優勝者には**商店街空き店舗での開業を支援**。



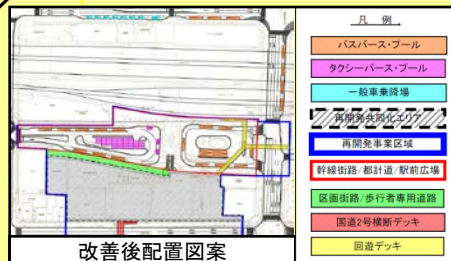
・観光施設整備
観光施策・イベント等との連携や利便性の向上を図るため**観光案内所と観光協会事務所が一体となった施設**を整備する。



・駅前子ども一時預かり施設整備
外出困難な子育て期の親の通院や買い物等の利用のため再開発ビル内に施設整備を行う。

○明石駅前広場再整備事業(②)

駅前広場や周辺の**バス乗降場の配置等の交通機能の再編**により、駅周辺の交通結節機能を総合的に向上。



○明石・夏のとれとれ市(⑥)

夏の旬である明石ダコを中心に、**屋網であがる海産物のセリ見学**等を実施する。



○昭和の香りただよう本町商店街事業(⑤)
「昭和の老舗商店街」をコンセプトとした個性創出を図る。隣接する日活映画館と昭和の名画上映等の連携も行う。